

2地域居住事業で連携

JALと常口アトムが協定

供に関する業務協定を締結した。常口アトムは札幌市内の家具・家電付きマンションを住

居として提供する。JALが2地域居住で民間企業と連携するのは初めて。

JALが同日設立した



「2地域居住クラブ」

の会員となることで、

航空券と住居提供、コ

ンシエルジュによる滞

留提供、コ

ンシエルジュによる滞

留提供、コ

在中の相談サービスを受ける。羽田、伊丹、

関西、中部のいずれかの

空港を拠点として新千歳

空港を使って来道する場

合のみが対象となる。

7-10月末まで試験的に

運用する。60-65歳程

度のアクティブシニア層

の参加を想定している。

住居は1DK(約35平方

メートル)と1LDK(約50平

方メートル)を用意。都市部のほ

か、中島公園や円山公園

などを中心に提供する。

JALの林浩一執行役

員北海道支社長と常口ア

トムの清河智英社長が協

定書に署名。林支社長は

「移動を通じた関係・つ

ながりが合言葉。2地域

居住も大きなテーマだっ

たが、住居確保のハード

ルが一番高かった。今後、

札幌の事例を基に道内他

地域でも広く提供できれ

ば」と話した。

清河社長は「家具・家

電付きマンション事業は

昨年から検討していた。

2拠点居住しながら最終

的に移住・定住につなが

れば地方創生のお手伝い

ができると思う。道内各

地への人流にもつなげた

い」と展望した。

い」と展望した。

日本航空(本社・東京)と賃貸仲介の常口アトム(同・札幌)は19日、札幌市内の敷島ビルで、2地域居住事業での住居提

河社長

河社長